

第3期三木市教育振興基本計画を策定

本市の教育行政をより一層推進するため、これまでの取組の成果と課題を振り返り、今後5年間のめざすべき方向や取り組むべき施策などを総合的・体系的に示した「第3期三木市教育振興基本計画」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

また、本計画に基づき、令和3年度の実施計画として「令和3年度三木市教育の基本方針」を定め、豊かな学びを推進していきます。



▲計画の詳細はホームページをご覧ください



国内最大級の防災施設

兵庫県広域防災センター

問 兵庫県広域防災センター
志染町御坂1-19
☎87-2920(代)



みっきいナビ

人権の目

健康

相談

暮らし

募集

子育て

教室・講座

催し

施設

計画の基本理念

豊かな学びで未来を拓く

基本方針(2つの柱と対応施策)

I 「未来を創る教育」を進めます

1 未来を担う子どもたちの生き抜く力を育てます

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) 特別支援教育の推進
- (5) キャリア教育(社会的自立に繋がる学び)の推進
- (6) 就学前教育・保育の充実



2 子どもたちの学びを支える環境づくりを進めます

- (1) 教育環境の整備と充実
- (2) 学校、家庭、地域が連携した教育の推進
- (3) 教職員の資質・能力の向上
- (4) 学校園の組織力の強化



II 「生涯にわたる学び」を支えます

1 豊かな人生を応援します

- (1) 人権教育の推進
- (2) よりよく生きるための学びの充実



2 文化・スポーツの振興に努めます

- (1) 市民文化の高揚
- (2) 文化遺産の活用
- (3) スポーツ環境づくりの推進



各取組の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の持続的な対策と豊かな学びの保障の両立を図ります。

- 問・(市)教育総務課
- ・(市)学校教育課
- ・(市)人権推進課(総合隣保館内)
- ☎82-8388

平成7年に発生した阪神・淡路大震災を教訓として、三木市に整備された国内最大級の防災施設「兵庫県広域防災センター」。

平時は消防訓練や県民への研修の場として活用され、有事には消防・警察・自衛隊などの活動拠点と救助物資の集積・配送拠点となります。また、今後は宿泊施設を拡充し、宿泊型研修プログラムの開講をめざすなど、防災人材育成拠点としてのさらなる発展が期待されます。ここでは、同センターが地域の防災力向上のために現在実施している防災体験学習・訓練について紹介します。



▲ホームページはこちら

防災体験学習・訓練の担当者にお話を伺いました

災害発生時に、何よりも大切なことは「自分が助かること」です。まずは自分が助からなければ、家族や周囲の人を助けることができません。また人が亡くならないことは、災害後のまちの復旧・復興を早めることにも繋がります。

命を守るために重要なことは、日頃から災害発生時の状況を「想像」すること、次にそれに対応した事前の備えなどの「対策」です。また正しい知識と判断力に基づいた行動の「スピード」も生死を分けるポイントとなります。

当センターの防災体験学習・訓練では、まずはじめにガイダンス※を行い、過去に発生した

自然災害などを通して、災害発生時の状況や対策のヒントなどをお伝えします。その後、ガイダンスで高めた災害時のイメージを持った状態で、各体験学習を受講することで、より理解度の高い学習を展開します。

自主防災組織の活動や学校の校外学習など、地域の防災力強化のために、ぜひ活用してください。

※初歩的な説明や案内のこと



兵庫県広域防災センター 防災教育担当 田中 健一 さん

防災体験学習・訓練の一例

ガイダンス後の体験学習・訓練メニューは選択できます。詳しくはホームページをご覧ください。



地震体験

起震車(地震を再現できる振動装置を搭載した車)に乗り、過去に発生した地震や今後発生する可能性のある地震の揺れを疑似体験することができます。



煙避難体験

煙の特性や危険性を学んだあと、模擬煙(水蒸気)が充満した迷路室で、視界がきかない中での避難行動を体験できます。



備蓄倉庫見学

三木総合防災公園陸上競技場のバックスタンド下(約5,000㎡)に保管された救援物資や人命救助に使用する道具などを見学できます。